

メールマガジン 2022年9月

主の聖名を賛美いたします。

ドイツでは落ち葉を多く目にするようになり、いよいよ秋本番を迎えています。夏に向かっていく時のワクワク感とは相反する気持ちを感じながら過ごしています。太陽が燦爛と輝いていた夏から、日照時間がグッと少なくなる秋を迎えるには、何ともいえない寂寥感を毎年抱くものです。日本においては、ようやく過ごし易くなる秋を迎えている頃だと思いますが、皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。

さて、今月末には皆様のお手元にニュースレターが届けられると思いますので、短く近況報告をさせていただきます。私はケルンに赴任して初めて少し纏まった夏季休暇を頂き、滞在先からこのメールマガジンを発信しています。教会の規定により今迄も配慮を頂いていたもののチャンスを逸していましたが、今年はこのように実現することができました。今回の休暇はどこかを観光して楽しむという訳ではなく、ドイツ式の休暇・「休息のための休暇」を過ごさせて頂いています。

独自の会堂をもっていない私たちの教会は、我が家が仕事場であり、集会所であり、教会活動の全ての拠点となっており、日々、公私混同の生活をしているので、家から離れるだけでもリフレッシュできます。特に8月は、ヨーロッパ・キリスト者の集いを皮切りに、移動が多く慌ただしい日々を過ごしておりました。そしてつい最近では、大きなミスをしてしまったので(詳細は9月のニュースレターにて)、日常の生活から少し立ち止まることができ、頭も心も身体も安息が与えられています。

神様が創造された豊かな自然を賛美し、積ん読になっていた文学書や随筆集等、読書に勤しんでいます。いつも使っていない思考回路が働き、忘れていたような感性が心の奥深いところから沸々と湧いてきたように思っています。牧師は本を読むことに多くの時間を費やしますが、私は聖書を読むのは説教の為、読書は説教準備のためと、全てが説教に繋がるものでした。しかしこのように、「仕事の為」でも「義務の為」でもなく、ゆっくりと味わって様々なことを思い巡らしながらの読書三昧の贅沢な時を過ごさせて頂いています。

休息を得て、心も身体もリフレッシュして、更に霊的に十分に養われて、今年後半の歩みのために備えたいと願っています。このような特別の時、正に「聖別された時」を過ごさせて頂き、神様と教会の方々等、御協力くださった方々に心から感謝の気持ちでいっぱいです。

ホームページにはドイツの様子がわかる写真も掲載しています。過去のメールマガジンも見やすくなりましたので、是非ご覧ください。

<http://www.komatsugawa-ch.com/PfarrerIn-Ryokosasaki/mailmagazine.html>